

平成 28 年度 秋田大学次世代がん治療推進専門家養成プラン
運営諮問委員会 議事要旨

日時：平成 28 年 9 月 17 日（土） 13:30～14:00

会場：秋田大学医学部 基礎医学研究棟 1 階「第一会議室」

参加者：別紙（出席者名簿）

（1）開会

委員長の羽瀨友則秋田大学医学部附属病院長より開会の挨拶があり、引き続き、本年度より変更となった委員および昨年の議事要旨を確認した。

（2）報告事項

1）平成 27 年度事業報告及び平成 28 年度事業計画について

柴田浩行教授（秋田大学がんプロコーディネーター）より、資料 2 に基づき、平成 27 年度事業報告及び平成 28 年度事業計画について説明があった。

- ・次世代がん治療推進専門家養成プランは、東京医科歯科大学が主幹校で 5 年間のプログラムであり、今年度が最終年となる。
- ・学生の受け入れ数、看護師の教育プログラム（ELNEG-J）の取り組み、がん専門資格取得の勧奨、院内待合室での情報発信、がんカフェの活動、アンケート調査、医工連携授業、他大学との総合交流事業、北東北がん医療コンソーシアム事業、がんプロフォーラム、がんプロシンポジウム、腹腔鏡下手術授業、e-learning、広域キャンサーボード、地域緩和勉強会、がんプロニュース、県との協力事業であるがん教育事業等。

2）全国がんプロ協議会総会について

柴田教授より、7 月に東京で開催された、全国がんプロ協議会総会について報告があった。

- ・この総会はがんプロを運営している全国の医科大学、主に医科大学の教官を対象に、今年度で終了するがんプロフェッショナル養成プランを次回にも文科省へ要請し、継続事業として行っていこうと氣勢をあげるための総会である。
- ・事業の内容としては、文科省的に良いのだが、予算が厳しいため、この様な同様の事業が引き続き認められるという保証は極めて低いとの文科省の回答があった。

（3）その他

- ・文科省のホームページに概算要求案があったことから、可能性として第 3 期のがんプロがあるかもしれない。